

7 食に関する感謝の念や環境への配慮

(1) 日頃の食生活での実感の有無

日頃の食生活について2つの内容を挙げ、それぞれについて、どの程度実感しているか聞いた。

『①日頃の食生活は自然の恵みによって成り立っている』について、『実感している』と回答したのは82.4%だった。『②日頃の食生活は、生産者をはじめ多くの人々の苦労や努力に支えられている』について、『実感している』と回答したのは90.1%だった。(図7-1)

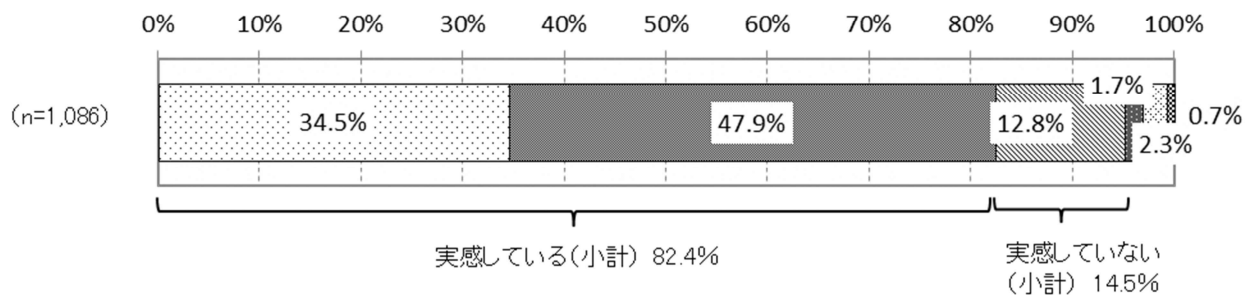
国の調査結果と比較して、①②ともに『実感している』と回答した人の割合が高いのが特徴である。

Q19 全員におたずねします。

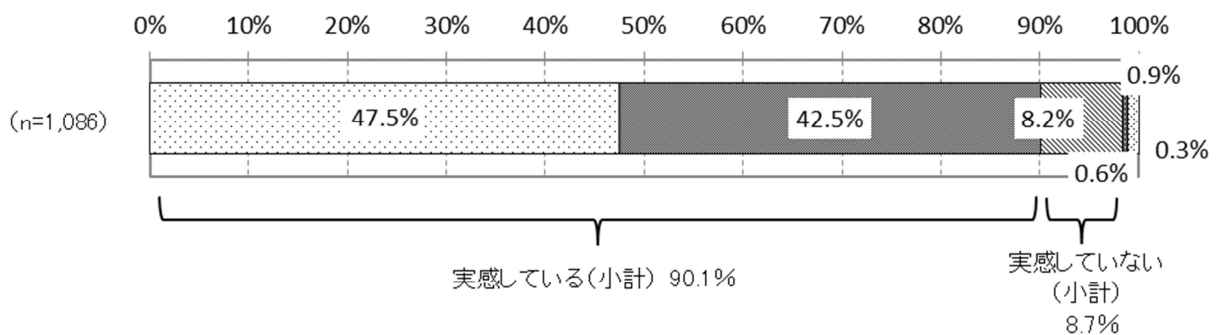
あなたは、日頃の食生活で次の(1)と(2)のようなことを実感することがありますか。あてはまるものをそれぞれ1つずつ選んでください。

図7-1 日頃の食生活での実感の有無

(1) 日頃の食生活は、自然の恵みによって成り立っている



(2) 日頃の食生活は、生産者をはじめ多くの人々の苦労や努力に支えられている

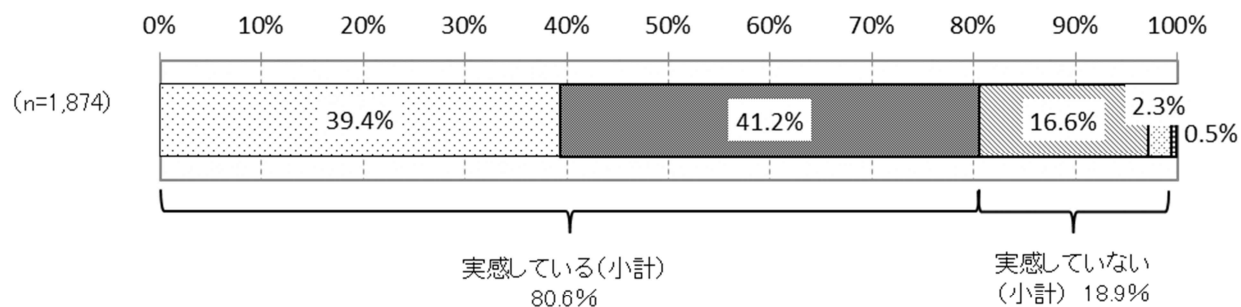


いつも実感している 時々実感している あまり実感していない
 全く実感していない わからない 無回答

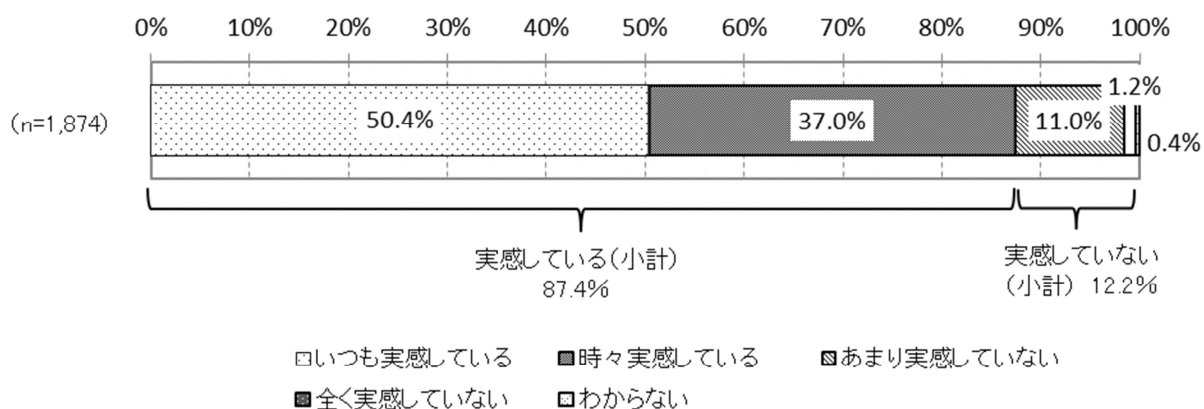
※結果数値（％）は小数点第2位以下を四捨五入してあるので、内訳の合計と小計、合計が一致しないこともある。

【参考】国の調査結果（農林水産省「食育に関する意識調査報告書」平成29年3月）

(1) 日頃の食生活は、自然の恵みによって成り立っている



(2) 日頃の食生活は、生産者をはじめ多くの人々の苦労や努力に支えられている



日頃の食生活は、自然の恵みによって成り立っていることについて、性別に見ると、

- 『実感している』と回答した人の割合は女性で高い。
- 『実感していない』と回答した人の割合は男性で高い。

性・年齢別に見ると、

- 『実感している』と回答した人の割合は男性の70歳以上、女性の60歳代から70歳以上で高い。
- 『実感していない』と回答した人の割合は男性の20歳代から60歳代、女性の30歳代で高い。

地区別に見ると、

- 『実感していない』と回答した人の割合は北部で高い。

表7-1-1 日頃の食生活での実感の有無
(1) 日頃の食生活は、自然の恵みによって成り立っていること

	該当者数 (n)	合計	実感している (計)	いつも実感している	時々実感している	実感していない (計)	あまり実感していない	全く実感していない	わからない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
全体	1086	100.0	82.4	34.5	47.9	14.5	12.8	1.7	2.3	0.7
性・年齢別 Q34×Q35										
男性	420	100.0	77.6	32.6	45.0	19.8	17.6	2.1	2.1	0.5
20～29歳	29	100.0	62.1	27.6	34.5	31.0	20.7	10.3	6.9	0.0
30～39歳	42	100.0	78.6	26.2	52.4	21.4	21.4	0.0	0.0	0.0
40～49歳	71	100.0	78.9	25.4	53.5	19.7	16.9	2.8	1.4	0.0
50～59歳	70	100.0	72.9	25.7	47.1	25.7	25.7	0.0	1.4	0.0
60～69歳	108	100.0	75.9	32.4	43.5	22.2	19.4	2.8	0.9	0.9
70歳以上	99	100.0	85.9	46.5	39.4	9.1	8.1	1.0	4.0	1.0
女性	654	100.0	85.6	35.5	50.2	11.2	9.8	1.4	2.3	0.9
20～29歳	54	100.0	77.8	25.9	51.9	16.7	14.8	1.9	5.6	0.0
30～39歳	93	100.0	79.6	21.5	58.1	19.4	18.3	1.1	1.1	0.0
40～49歳	123	100.0	83.7	38.2	45.5	13.8	10.6	3.3	1.6	0.8
50～59歳	116	100.0	83.6	31.0	52.6	11.2	8.6	2.6	5.2	0.0
60～69歳	133	100.0	92.5	39.1	53.4	6.0	6.0	0.0	0.0	1.5
70歳以上	132	100.0	89.4	47.0	42.4	6.1	6.1	0.0	2.3	2.3
地区・居住地 Q36										
北部	80	100.0	75.0	35.0	40.0	20.0	18.8	1.3	3.8	1.3
名護市	50	100.0	78.0	38.0	40.0	20.0	20.0	0.0	0.0	2.0
伊江村	30	100.0	70.0	30.0	40.0	20.0	16.7	3.3	10.0	0.0
中部	356	100.0	81.7	36.0	45.8	14.0	12.6	1.4	3.1	1.1
うるま市	244	100.0	82.8	36.9	45.9	13.1	11.9	1.2	3.3	0.8
中城村	112	100.0	79.5	33.9	45.5	16.1	14.3	1.8	2.7	1.8
那覇市	227	100.0	84.6	33.5	51.1	14.1	11.5	2.6	1.3	0.0
南部	334	100.0	84.1	35.0	49.1	12.9	11.4	1.5	2.1	0.9
南城市	228	100.0	83.3	36.8	46.5	13.6	12.3	1.3	1.8	1.3
与那原町	87	100.0	87.4	27.6	59.8	10.3	8.0	2.3	2.3	0.0
南大東村	19	100.0	78.9	47.4	31.6	15.8	15.8	0.0	5.3	0.0
宮古・八重山	78	100.0	80.8	26.9	53.8	17.9	16.7	1.3	1.3	0.0
宮古島市	36	100.0	77.8	38.9	38.9	22.2	22.2	0.0	0.0	0.0
石垣市	42	100.0	83.3	16.7	66.7	14.3	11.9	2.4	2.4	0.0

日頃の食生活は、生産者をはじめ多くの人々の苦労や努力に支えられていることについて、性別、性・年齢別、地区別で大きな差異は見られない。

表7-1-2 日頃の食生活での実感の有無

(2) 日頃の食生活は、生産者をはじめ多くの人々の苦労や努力に支えられていること

	該当者数 (n)	合計	実感している (計)	いつも実感している	時々実感している	実感していない (計)	あまり実感していない	全く実感していない	わからない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%
全体	1086	100.0	90.1	47.5	42.5	8.7	8.2	0.6	0.9	0.3
性・年齢別 Q34×Q35										
男性	420	100.0	88.1	44.8	43.3	11.0	10.2	0.7	1.0	0.0
20～29歳	29	100.0	82.8	31.0	51.7	10.3	6.9	3.4	6.9	0.0
30～39歳	42	100.0	92.9	54.8	38.1	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0
40～49歳	71	100.0	87.3	33.8	53.5	12.7	12.7	0.0	0.0	0.0
50～59歳	70	100.0	81.4	37.1	44.3	18.6	18.6	0.0	0.0	0.0
60～69歳	108	100.0	86.1	42.6	43.5	13.9	12.0	1.9	0.0	0.0
70歳以上	99	100.0	94.9	60.6	34.3	3.0	3.0	0.0	2.0	0.0
女性	654	100.0	91.4	49.1	42.4	7.2	6.7	0.5	0.9	0.5
20～29歳	54	100.0	88.9	46.3	42.6	11.1	11.1	0.0	0.0	0.0
30～39歳	93	100.0	87.1	36.6	50.5	12.9	12.9	0.0	0.0	0.0
40～49歳	123	100.0	90.2	41.5	48.8	8.1	7.3	0.8	0.8	0.8
50～59歳	116	100.0	93.1	50.0	43.1	5.2	4.3	0.9	1.7	0.0
60～69歳	133	100.0	92.5	56.4	36.1	6.0	6.0	0.0	0.8	0.8
70歳以上	132	100.0	93.9	58.3	35.6	3.8	3.0	0.8	1.5	0.8
地区・居住地 Q36										
北部	80	100.0	88.8	46.3	42.5	10.0	10.0	0.0	1.3	0.0
名護市	50	100.0	88.0	46.0	42.0	12.0	12.0	0.0	0.0	0.0
伊江村	30	100.0	90.0	46.7	43.3	6.7	6.7	0.0	3.3	0.0
中部	356	100.0	89.0	47.8	41.3	10.1	9.0	1.1	0.6	0.3
うるま市	244	100.0	91.0	50.4	40.6	8.2	7.8	0.4	0.8	0.0
中城村	112	100.0	84.8	42.0	42.9	14.3	11.6	2.7	0.0	0.9
那覇市	227	100.0	91.6	46.7	44.9	7.0	6.6	0.4	1.3	0.0
南部	334	100.0	91.0	50.6	40.4	7.5	7.5	0.0	0.9	0.6
南城市	228	100.0	89.9	52.6	37.3	8.3	8.3	0.0	0.9	0.9
与那原町	87	100.0	95.4	46.0	49.4	3.4	3.4	0.0	1.1	0.0
南大東村	19	100.0	84.2	47.4	36.8	15.8	15.8	0.0	0.0	0.0
宮古・八重山	78	100.0	89.7	37.2	52.6	9.0	7.7	1.3	1.3	0.0
宮古島市	36	100.0	91.7	44.4	47.2	8.3	5.6	2.8	0.0	0.0
石垣市	42	100.0	88.1	31.0	57.1	9.5	9.5	0.0	2.4	0.0

※結果数値(%)は小数点第2位以下を四捨五入してあるので、内訳の合計と小計に一致しないこともある。

※表中の数値で、全体平均や属性項目(性別、性・年齢別、地区別)間で比較し、統計的に有意差のあるものについては網掛けで示している。なお、属性項目で無回答だった人の回答は除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。

【参考】国の調査結果（農林水産省「食育に関する意識調査報告書」平成29年3月）

日頃の食生活は、自然の恵みによって成り立っていることについて、
性別に見ると、

- 『実感している』と回答した人の割合は女性で高い。
- 『実感していない』と回答した人の割合は男性で高い。

性・年齢別に見ると、

- 『実感している』と回答した人の割合は女性の60歳代から70歳代で高い。
- 『実感していない』と回答した人の割合は男性の20歳代から40歳代、女性の20歳代で高い。

日頃の食生活は、生産者をはじめ多くの人々の苦労や努力に支えられていることについて、
性・年齢別に見ると、

- 『実感していない』と回答した人の割合は男性の20歳代から30歳代で高い。

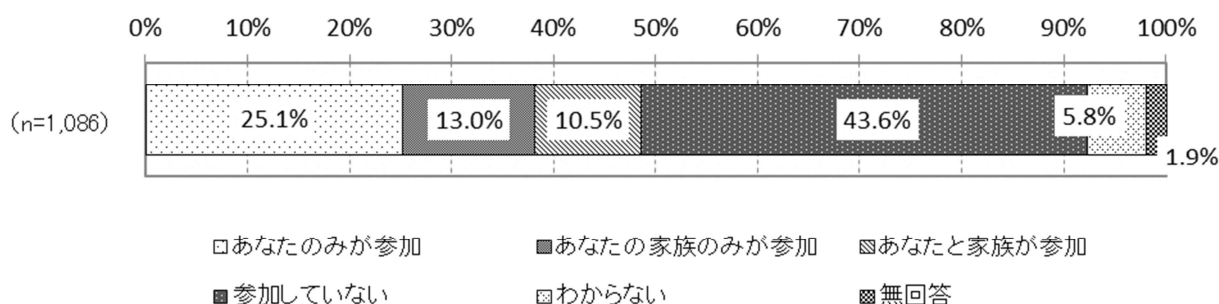
(2) 農林漁業体験への参加

家族の中で農林漁業体験に参加したことがある人はいるか聞いたところ、「あなたのみが参加」が 25.1%、「あなたの家族のみが参加」が 13.0%、「あなたと家族が参加」が 10.5%となっている。一方、「参加していない」と回答した人は 43.6%となっている。(図 7-2)
 国の調査結果と比較して、参加した世帯の割合が高いのが特徴である。

Q22 全員におたずねします。

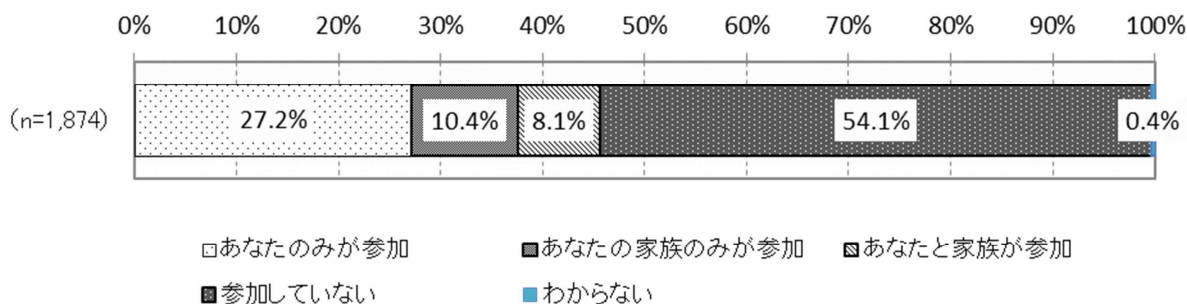
これまであなた、またはあなたの家族の中で農林漁業体験に参加したことがある人はいますか。あてはまるものをいくつでも選んでください。(M. A.)

図 7-2 農林漁業体験への参加



※調査票上では、「あなたが参加した」「あなたの家族が参加した」ともにあてはまる場合には、2つを選ばせる形となっている。集計時に(ア)と(イ)の重複を除き、上記の分類を作成した。

【参考】国の調査結果(農林水産省「食育に関する意識調査報告書」平成 29 年 3 月)



農林漁業体験への参加について、

性別に見ると、

- 「あなたのみが参加」と回答した人の割合は男性で高い。
- 「あなたの家族のみが参加」と回答した人の割合は女性で高い。

性・年齢別に見ると、

- 「あなたのみが参加」と回答した人の割合は男性の20歳代と60歳代で高い。
- 「参加していない」は男性の40歳代、女性の30歳代で高い。

地区別に見ると、

- 「あなたのみが参加」と回答した人の割合は北部、南部、宮古・八重山で高い。
- 「参加していない」と回答した人の割合は中部、那覇市で高い。

表7-2 農林漁業体験への参加

	該当者数 (n)	合計	あなたのみが参加	あなたが参加のみ	加あなたと家族が参加	参加していない	わからない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%
全体	1086	100.0	25.1	13.0	10.5	43.6	5.8	1.9
性・年齢別 Q34×Q35								
男性	420	100.0	32.6	8.8	8.6	44.0	4.0	1.9
20～29歳	29	100.0	37.9	10.3	3.4	41.4	6.9	0.0
30～39歳	42	100.0	16.7	9.5	11.9	45.2	16.7	0.0
40～49歳	71	100.0	28.2	9.9	7.0	52.1	1.4	1.4
50～59歳	70	100.0	31.4	11.4	8.6	44.3	2.9	1.4
60～69歳	108	100.0	40.7	8.3	5.6	42.6	0.9	1.9
70歳以上	99	100.0	33.3	5.1	13.1	40.4	4.0	4.0
女性	654	100.0	20.0	15.7	11.6	43.9	6.9	1.8
20～29歳	54	100.0	18.5	11.1	7.4	38.9	20.4	3.7
30～39歳	93	100.0	18.3	11.8	14.0	48.4	7.5	0.0
40～49歳	123	100.0	19.5	17.1	14.6	43.9	4.9	0.0
50～59歳	116	100.0	16.4	19.0	18.1	38.8	6.0	1.7
60～69歳	133	100.0	23.3	18.0	9.0	43.6	5.3	0.8
70歳以上	132	100.0	22.7	14.4	6.1	46.2	5.3	5.3
地区・居住地 Q36								
北部	80	100.0	35.0	18.8	11.3	25.0	7.5	2.5
名護市	50	100.0	20.0	18.0	12.0	38.0	10.0	2.0
伊江村	30	100.0	60.0	20.0	10.0	3.3	3.3	3.3
中部	356	100.0	20.5	12.9	10.1	49.7	4.8	2.0
うるま市	244	100.0	19.3	11.1	9.8	52.5	4.9	2.5
中城村	112	100.0	23.2	17.0	10.7	43.8	4.5	0.9
那覇市	227	100.0	20.3	11.0	8.8	52.9	5.3	1.8
南部	334	100.0	29.0	13.2	10.2	38.0	7.5	2.1
南城市	228	100.0	27.2	14.0	12.3	36.4	7.9	2.2
与那原町	87	100.0	31.0	10.3	4.6	44.8	6.9	2.3
南大東村	19	100.0	42.1	15.8	10.5	26.3	5.3	0.0
宮古・八重山	78	100.0	30.8	12.8	16.7	34.6	3.8	1.3
宮古島市	36	100.0	36.1	13.9	19.4	25.0	2.8	2.8
石垣市	42	100.0	26.2	11.9	14.3	42.9	4.8	0.0

※結果数値(%)は小数点第2位以下を四捨五入してあるので、内訳の合計と小計に一致しないこともある。

※表中の数値で、全体平均や属性項目（性別、性・年齢別、地区別）間で比較し、統計的に有意差のあるものについては網掛けで示している。なお、属性項目で無回答だった人の回答は除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。

【参考】国の調査結果（農林水産省「食育に関する意識調査報告書」平成29年3月）

農林漁業体験への参加について、
性別で大きな差異は見られない。
性・年齢別に見ると、
○「参加していない」は男性の40歳代で高い。

(3) 食べ残しや食品の廃棄に対する意識

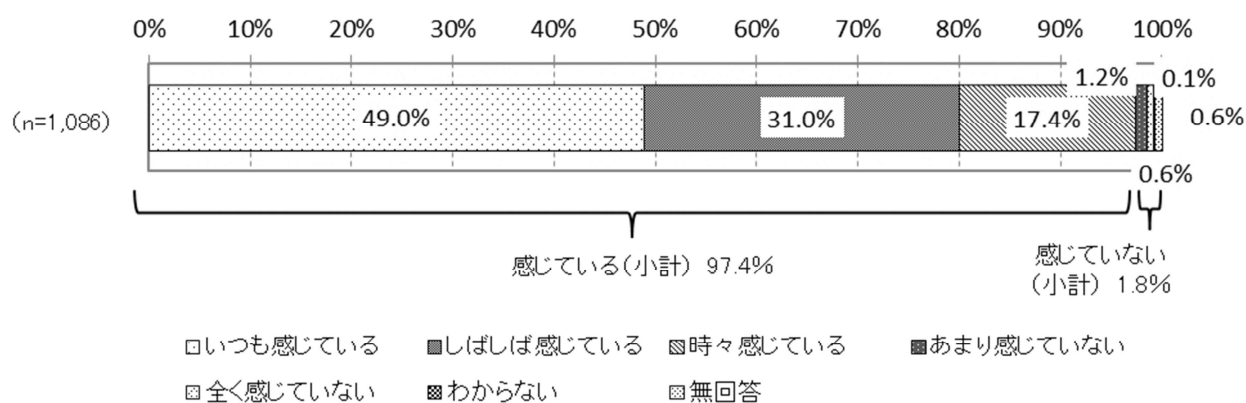
食べ残しや食品の廃棄が発生していることに関して、「もったいない」と感じることもあるか聞いたところ、『感じている』と回答した人の割合が 97.4%（「いつも感じている」49.0% + 「しばしば感じている」31.0% + 「時々感じている」17.4%）、『感じていない』と回答した人の割合が 1.8%（「あまり感じていない」1.2% + 「全く感じていない」0.6%）となっている。（図 7-3）

国の調査結果と比較して『感じている』と回答した人の割合が高いのが特徴である。

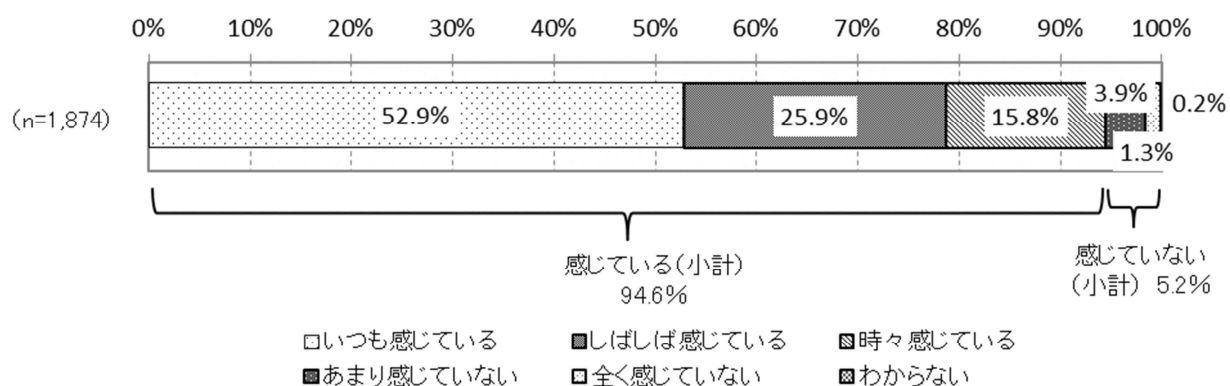
Q 2 3 全員におたずねします。

食品産業や家庭において食べ残しや食品の廃棄が発生していることに関して、日頃から「もったいない」と感じるがありますか。あてはまるものを1つ選んでください。

図 7-3 食べ残しや食品の廃棄に対する意識



【参考】国の調査結果（農林水産省「食育に関する意識調査報告書」平成 29 年 3 月）



食べ残しや食品の廃棄に対する意識について、性別、性・年齢別、地区別で大きな差異は見られない。

表 7-3 食べ残しや食品の廃棄に対する意識

	該当者数 (n)	合計		感じて いる (計)	いつも 感じて いる	しばしば 感じて いる	時々 感じて いる	感じて いない (計)	あまり 感じて いな	全く 感じて いない	わから ない	無 回答
		人	%									
全体	1086	100.0	97.4	49.0	31.0	17.4	1.8	1.2	0.6	0.1	0.6	
性・年齢別 Q34×Q35												
男性	420	100.0	96.7	50.2	30.2	16.2	2.9	2.1	0.7	0.0	0.5	
20～29歳	29	100.0	93.1	48.3	24.1	20.7	6.9	6.9	0.0	0.0	0.0	
30～39歳	42	100.0	100.0	50.0	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
40～49歳	71	100.0	97.2	52.1	29.6	15.5	2.8	2.8	0.0	0.0	0.0	
50～59歳	70	100.0	98.6	48.6	32.9	17.1	1.4	1.4	0.0	0.0	0.0	
60～69歳	108	100.0	95.4	49.1	32.4	13.9	4.6	2.8	1.9	0.0	0.0	
70歳以上	99	100.0	96.0	51.5	27.3	17.2	2.0	1.0	1.0	0.0	2.0	
女性	654	100.0	98.0	48.2	31.8	18.0	1.2	0.6	0.6	0.2	0.6	
20～29歳	54	100.0	98.1	38.9	40.7	18.5	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0	
30～39歳	93	100.0	98.9	38.7	40.9	19.4	1.1	0.0	1.1	0.0	0.0	
40～49歳	123	100.0	99.2	47.2	34.1	17.9	0.8	0.0	0.8	0.0	0.0	
50～59歳	116	100.0	98.3	47.4	31.0	19.8	0.9	0.0	0.9	0.9	0.0	
60～69歳	133	100.0	97.0	51.9	29.3	15.8	0.8	0.8	0.0	0.0	2.3	
70歳以上	132	100.0	97.0	56.1	22.7	18.2	2.3	1.5	0.8	0.0	0.8	
地区・居住地 Q36												
北部	80	100.0	95.0	52.5	25.0	17.5	3.8	2.5	1.3	0.0	1.3	
名護市	50	100.0	96.0	48.0	28.0	20.0	2.0	2.0	0.0	0.0	2.0	
伊江村	30	100.0	93.3	60.0	20.0	13.3	6.7	3.3	3.3	0.0	0.0	
中部	356	100.0	98.9	49.2	31.7	18.0	1.1	0.8	0.3	0.0	0.0	
うるま市	244	100.0	98.8	50.4	32.4	16.0	1.2	0.8	0.4	0.0	0.0	
中城村	112	100.0	99.1	46.4	30.4	22.3	0.9	0.9	0.0	0.0	0.0	
那覇市	227	100.0	96.0	50.7	30.8	14.5	3.1	1.3	1.8	0.0	0.9	
南部	334	100.0	97.6	48.5	31.4	17.7	1.5	1.2	0.3	0.3	0.6	
南城市	228	100.0	96.9	50.4	29.8	16.7	1.8	1.3	0.4	0.4	0.9	
与那原町	87	100.0	98.9	42.5	35.6	20.7	1.1	1.1	0.0	0.0	0.0	
南大東村	19	100.0	100.0	52.6	31.6	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
宮古・八重山	78	100.0	97.4	42.3	33.3	21.8	1.3	1.3	0.0	0.0	1.3	
宮古島市	36	100.0	94.4	47.2	25.0	22.2	2.8	2.8	0.0	0.0	2.8	
石垣市	42	100.0	100.0	38.1	40.5	21.4	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

※結果数値(%)は小数点第2位以下を四捨五入してあるので、内訳の合計と小計に一致しないこともある。

※表中の数値で、全体平均や属性項目(性別、性・年齢別、地区別)間で比較し、統計的に有意差のあるものについては網掛けで示している。なお、属性項目で無回答だった人の回答は除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。

【参考】国の調査結果（農林水産省「食育に関する意識調査報告書」平成 29 年 3 月）

食べ残しや食品の廃棄に対する意識について、
性別で大きな差異は見られない。

性・年齢別に見ると、

- 「いつも感じている」と回答した人の割合は男性の 70 歳以上、女性の 60 歳代から 70 歳以上で約 6 割となっている。

(4) 食べ残しを減らす努力

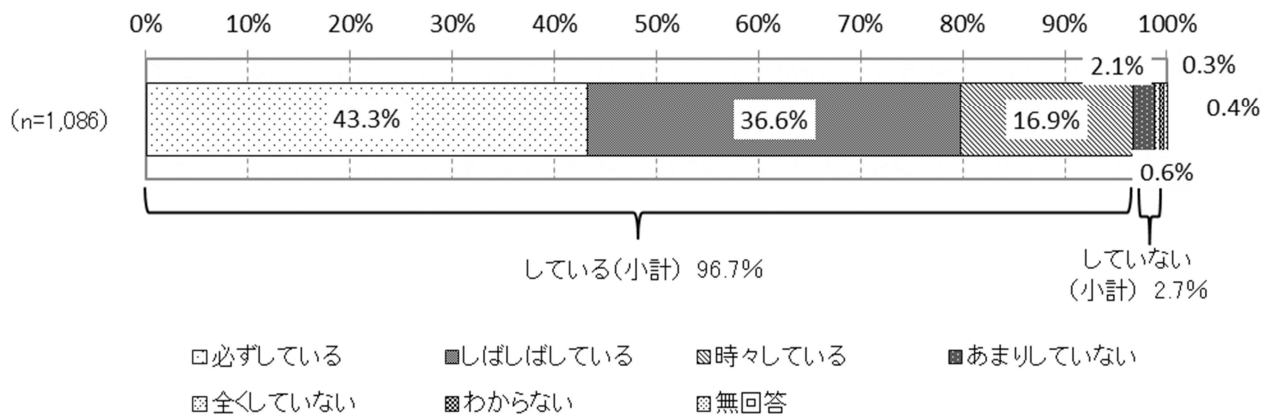
食べ残しを減らす努力をしているか聞いたところ、『している』と回答した人の割合が96.7%（「必ずしている」43.3%+「しばしばしている」36.6%+「時々している」16.9%）、『していない』と回答した人の割合が2.7%（「あまりしていない」2.1%+「全くしていない」0.6%）となっている。（図7-4）

国の調査結果と比較して『している』と回答した人の割合が高いのが特徴である。

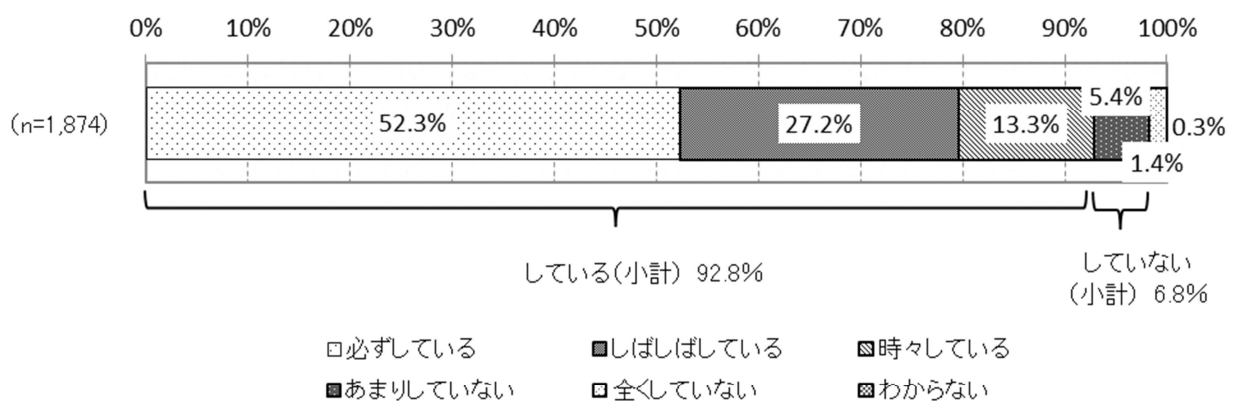
Q24 全員におたずねします。

あなたは、食べ残しを減らす努力をしていますか。あてはまるものを1つ選んでください。

図7-4 食べ残しを減らす努力



【参考】国の調査結果（農林水産省「食育に関する意識調査報告書」平成29年3月）



食べ残しを減らす努力について、性別、性・年齢別、地区別で大きな差異は見られない。

表7-4 食べ残しを減らす努力

	該当者数 (n)	合計	している (計)	必ずしている	しばしばしている	時々している	していない (計)	あまりしていない	全くしていない	わからない	無回答
	人	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
全体	1086	100.0	96.7	43.3	36.6	16.9	2.7	2.1	0.6	0.3	0.4
性・年齢別 Q34×Q35											
男性	420	100.0	96.2	45.2	34.8	16.2	3.1	2.6	0.5	0.5	0.2
20～29歳	29	100.0	100.0	55.2	24.1	20.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	42	100.0	100.0	47.6	35.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
40～49歳	71	100.0	98.6	47.9	38.0	12.7	0.0	0.0	0.0	1.4	0.0
50～59歳	70	100.0	97.1	32.9	41.4	22.9	2.9	2.9	0.0	0.0	0.0
60～69歳	108	100.0	91.7	45.4	33.3	13.0	8.3	7.4	0.9	0.0	0.0
70歳以上	99	100.0	96.0	48.5	31.3	16.2	2.0	1.0	1.0	1.0	1.0
女性	654	100.0	97.1	42.4	37.5	17.3	2.3	1.8	0.5	0.2	0.5
20～29歳	54	100.0	98.1	38.9	42.6	16.7	1.9	1.9	0.0	0.0	0.0
30～39歳	93	100.0	96.8	31.2	48.4	17.2	3.2	2.2	1.1	0.0	0.0
40～49歳	123	100.0	96.7	43.1	37.4	16.3	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0
50～59歳	116	100.0	99.1	39.7	39.7	19.8	0.0	0.0	0.0	0.9	0.0
60～69歳	133	100.0	96.2	45.1	32.3	18.8	2.3	1.5	0.8	0.0	1.5
70歳以上	132	100.0	96.2	51.5	29.5	15.2	3.0	2.3	0.8	0.0	0.8
地区・居住地 Q36											
北部	80	100.0	96.3	46.3	33.8	16.3	2.5	2.5	0.0	0.0	1.3
名護市	50	100.0	96.0	46.0	32.0	18.0	2.0	2.0	0.0	0.0	2.0
伊江村	30	100.0	96.7	46.7	36.7	13.3	3.3	3.3	0.0	0.0	0.0
中部	356	100.0	96.1	40.2	37.9	18.0	3.9	3.1	0.8	0.0	0.0
うるま市	244	100.0	95.9	40.2	39.3	16.4	4.1	2.9	1.2	0.0	0.0
中城村	112	100.0	96.4	40.2	34.8	21.4	3.6	3.6	0.0	0.0	0.0
那覇市	227	100.0	97.8	48.0	35.7	14.1	2.2	1.3	0.9	0.0	0.0
南部	334	100.0	96.7	46.4	33.8	16.5	1.8	1.5	0.3	0.9	0.6
南城市	228	100.0	96.1	47.8	32.5	15.8	2.2	1.8	0.4	0.9	0.9
与那原町	87	100.0	97.7	41.4	37.9	18.4	1.1	1.1	0.0	1.1	0.0
南大東村	19	100.0	100.0	52.6	31.6	15.8	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
宮古・八重山	78	100.0	96.2	30.8	44.9	20.5	2.6	2.6	0.0	0.0	1.3
宮古島市	36	100.0	94.4	30.6	44.4	19.4	2.8	2.8	0.0	0.0	2.8
石垣市	42	100.0	97.6	31.0	45.2	21.4	2.4	2.4	0.0	0.0	0.0

※結果数値(%)は小数点第2位以下を四捨五入してあるので、内訳の合計と小計に一致しないこともある。

※表中の数値で、全体平均や属性項目(性別、性・年齢別、地区別)間で比較し、統計的に有意差のあるものについては網掛けで示している。なお、属性項目で無回答だった人の回答は除いてあるため、各属性の件数の合計が全体件数と一致しないことがある。

【参考】国の調査結果(農林水産省「食育に関する意識調査報告書」平成29年3月)

食べ残しを減らす努力について、
性・年齢別に見ると、

○「している」と回答した人の割合は女性の50歳代で高い。